



# 仮想マシンのデータのバックアップとリストア Cloud Backup

NetApp  
June 20, 2022

# 目次

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 仮想マシンのデータのバックアップとリストア ..... | 1 |
| 仮想マシンのデータを保護 .....          | 1 |
| データストアをクラウドにバックアップ .....    | 3 |
| 仮想マシンの保護を管理します .....        | 4 |
| クラウドから仮想マシンをリストアします .....   | 6 |

# 仮想マシンのデータのバックアップとリストア

## 仮想マシンのデータを保護

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereとCloud Managerを統合することで、仮想マシン上のデータを保護できます。データストアをクラウドにバックアップし、仮想マシンをオンプレミスのSnapCenter Plug-in for VMware vSphereにリストアする作業は簡単です。

データストアは、Amazon Web Services S3またはMicrosoft Azure Blobにバックアップできます。

### 要件

データストアおよび仮想マシンをクラウドサービスにバックアップする前に、次の要件を確認し、サポートされる構成になっていることを確認してください。

- VMware vSphere 4.6P1以降用のSnapCenter プラグイン
- ONTAP 9.8 以降
- Cloud Manager 3.9以降
- VMware vSphere 4.6P1向けSnapCenter プラグインでは、少なくとも1つのバックアップを作成しておく必要があります。
- SnapCenter Plug-in for VMware vSphereで、Cloud ManagerのCloud Backup for Virtual Machinesポリシーと同じラベルまたは同じラベルの日単位、週単位、または月単位のポリシーが少なくとも1つ必要です。
- 組み込みのポリシーの場合は、スケジュール階層はSnapCenter Plug-in for VMware vSphereとクラウドのデータストアで同じである必要があります。
- FlexGroup ボリュームのバックアップとリストアはサポートされていないため、データストアにFlexGroup ボリュームがないことを確認してください。
- 暗号化されたボリュームのリストアはサポートされていないため、暗号化されたボリュームがないことを確認してください。
- 必要なリソースグループで「\*\_recent\*」を無効にします。リソースグループに対して「\*\_recent\*」が有効になっている場合、これらのリソースグループのバックアップをクラウドへのデータ保護に使用できず、それ以降はリストア処理に使用できません。
- 仮想マシンのリストア先のデータストアに、VMDK、VMX、VMSDなどのすべての仮想マシンファイルのコピーを格納できるだけの十分なスペースがあることを確認してください。
- リストア先のデータストアに、リストア処理でエラーが発生した場合に、restore\_xxx\_xxxxxx\_filename形式の古い仮想マシンファイルが存在しないことを確認してください。リストア処理を開始する前に古いファイルを削除してください。

次の図は、各コンポーネントとその間の準備に必要な接続を示しています。



## 保護ポリシー

データストアをクラウドにバックアップするには、Cloud Backup for Virtual Machineで定義されているいずれかのポリシーを使用する必要があります。



カスタムポリシーはサポートされません。

デフォルトのポリシーを表示するには、Cloud Managerで\* Backup & Restore > Virtual Machines > Policies \* をクリックします。

| ポリシー名         | ラベル | 保持値     |
|---------------|-----|---------|
| 1 年ごとの LTR    | 毎日  | 366     |
| 5 年ごとの LTR    | 毎日  | 1830 年に |
| 7 年ごとの LTR    | 毎週  | 370     |
| 10 年間の月単位 LTR | 毎月  | 120     |

# データストアをクラウドにバックアップ

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereとCloud Managerを統合することで、データストアをクラウドにバックアップできます。これにより、VM管理者はデータのバックアップとアーカイブを簡単かつ迅速に行えるようになり、ストレージ効率を高めてクラウドへの移行を促進できます。



すべてのが満たされていることを確認します **"要件"** データストアをクラウドにバックアップする前に、

## SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの登録

データストアと仮想マシンをCloud Managerに表示するには、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereをCloud Managerに登録する必要があります。SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの登録は、管理者アクセス権を持つユーザのみが実行できます。



複数のSnapCenter Plug-in for VMware vSphereを登録できます。ただし、一度登録すると、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを削除できなくなります。

### 手順

1. Cloud Manager UIで、\* Backup & Restore > Virtual Machines \*をクリックします。
2. [設定]ドロップダウンから、[\* SnapCenter Plug-in for VMware vSphere\*]をクリックします。
3. [\* SnapCenter Plug-in for VMware vSphere\*の登録]をクリックします。
4. 次の情報を指定します。
  - a. SnapCenter Plug-in for VMware vSphereフィールドで、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereのFQDNまたはIPアドレスを指定します。
  - b. Portフィールドで、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを実行しているポート番号を指定します。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereとCloud Backup for Applicationsの間で通信を行うためにポートが開いていることを確認する必要があります。

- c. Username and Passwordフィールドで、管理者ロールを持つユーザのクレデンシャルを指定します。
5. [\*Register] をクリックします。
    - 終了後 \*

[バックアップとリストア>仮想マシン]をクリックして、登録済みのSnapCenter Plug-in for VMware vSphereを使用して保護対象となるすべてのデータストアおよび仮想マシンを表示します。

## データストアをバックアップする

単一のポリシーを使用して、1つ以上のデータストアをクラウドに同時にバックアップできます。データストアに割り当てることができるのはデフォルトのポリシーだけです。

### 手順

1. Cloud Manager UIで、\* Backup & Restore > Virtual Machines \*をクリックします。
2. をクリックします ... バックアップするデータストアに対応して、\*バックアップのアクティブ化\*をクリックします。
3. 作業環境を追加します。

データストアのバックアップを検出するONTAP クラスタを設定します。いずれかのデータストアの作業環境を追加したら、同じONTAP クラスタにある他のすべてのデータストアでその環境を再利用できます。

- a. SVMに対応する\* Add Working Environment \*をクリックします。
  - b. 作業環境の追加ウィザードで、次の手順を実行します。
    - i. ONTAP クラスタの IP アドレスを指定します。
    - ii. ONTAP クラスタユーザのクレデンシャルを指定してください。
  - c. \* 作業環境の追加 \* をクリックします。
4. クラウドプロバイダを選択して設定します。

#### **Amazon Web Services** を設定します

- a. AWS アカウントを指定します。
- b. AWS Access Keyフィールドで、データ暗号化のキーを指定します。
- c. AWS Secret Keyフィールドで、データ暗号化のパスワードを指定します。
- d. バックアップを作成するリージョンを選択します。
- e. 作業環境として追加した ONTAP クラスタの IP アドレスを指定します。

#### **Microsoft Azure** を設定

- a. Azure サブスクリプション ID を指定します。
- b. バックアップを作成するリージョンを選択します。
- c. 新しいリソースグループを作成するか、既存のリソースグループを使用します。
- d. 作業環境として追加した ONTAP クラスタの IP アドレスを指定します。

5. [ポリシーの割り当て] ページで、ポリシーを選択して [次へ\*] をクリックします。
6. 詳細を確認し、\* バックアップのアクティブ化 \* をクリックします。

## 仮想マシンの保護を管理します

データをバックアップおよびリストアする前に、ポリシー、データストア、および仮想マシンを表示できます。データベース、ポリシー、またはリソースグループの変更に応じて、Cloud Manager UI から更新情報を更新できます。

## ポリシーを表示します

デフォルトの組み込みポリシーをすべて表示できます。各ポリシーについて詳細を表示すると、関連付けられているすべてのCloud Backup for Virtual Machinesポリシーと関連するすべての仮想マシンが表示されます。

1. [バックアップと復元]>[仮想マシン\*]をクリックします。
2. [\* 設定] ドロップダウンから、[ポリシー \*] をクリックします。
3. 詳細を表示するポリシーに対応する **View Details** をクリックします。

関連付けられているCloud Backup for Virtual Machinesポリシーとすべての仮想マシンが表示されます。

## データストアと仮想マシンを表示します

登録済みのSnapCenter Plug-in for VMware vSphereを使用して保護されているデータストアと仮想マシンが表示されます。

- このタスクについて \*
- 表示されるのはNFSデータストアのみです。
- SnapCenter Plug-in for VMware vSphereで少なくとも1つの正常なバックアップが作成されているデータストアのみが表示されます。

### 手順

1. Cloud Manager UIで、\* Backup & Restore > Virtual Machines > Settings > SnapCenter Plug-in for VMware vSphere \*をクリックします。
2. データストアおよび仮想マシンを表示するSnapCenter Plug-in for VMware vSphereをクリックします。

## SnapCenter Plug-in for VMware vSphereインスタンスを編集します

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの詳細をCloud Managerで編集できます

### 手順

1. Cloud Manager UIで、\* Backup & Restore > Virtual Machines > Settings > SnapCenter Plug-in for VMware vSphere \*をクリックします。
2. をクリックし、\*編集\*を選択します
3. 必要に応じて詳細を変更します
4. [保存 ( Save ) ] をクリックします。

## 保護ステータスを更新します

新しいボリュームがデータベースに追加された場合やポリシーまたはリソースグループに変更があった場合は、保護を更新する必要があります。

1. [バックアップと復元]>[仮想マシン\*]をクリックします。
2. [設定]ドロップダウンから、[\* SnapCenter Plug-in for VMware vSphere\*]をクリックします。
3. をクリックします ... 仮想マシンをホストしているSnapCenter Plug-in for VMware vSphereに対応しており、\*更新\*をクリックします。

新しい変更が検出されます。

4. をクリックします ... データストアに対応し、\*更新保護\*をクリックして変更に対するクラウド保護を有効にします。

## ジョブを監視します

すべてのクラウドバックアップ処理に対してジョブが作成されます。すべてのジョブと、各タスクの一部として実行されるすべてのサブタスクを監視できます。

1. [バックアップと復元]>[ジョブの監視\*]をクリックします。

処理を開始すると、ジョブが開始されたことを示すウィンドウが表示されます。リンクをクリックするとジョブを監視できます。

2. プライマリタスクをクリックすると、これらの各サブタスクのサブタスクとステータスが表示されます。

## クラウドから仮想マシンをリストアします

仮想マシンをクラウドからオンプレミスのvCenterにリストアできます。バックアップは、作成された場所とまったく同じ場所にリストアされます。他の場所にバックアップをリストアすることはできません。仮想マシンはデータストアまたはVMビューからリストアできます。



データストア全体にまたがっている仮想マシンはリストアできません。

すべてのが満たされていることを確認します "要件" 仮想マシンをクラウドからリストアする前に、

### 手順

1. Cloud Managerで、\* Backup & Restore > Virtual Machines > SnapCenter Plug-in for VMware vSphere \* をクリックし、仮想マシンをリストアするSnapCenter Plug-in for VMware vSphereを選択します。



ソース仮想マシンが別の場所（vMotion）に移動された場合、ユーザがCloud Managerからその仮想マシンのリストアを実行すると、仮想マシンはバックアップが作成された元のソースの場所にリストアされます。

1. データストアからリストアするには：
  - a. をクリックします ... リストアするデータストアに対応し、\*詳細の表示\*をクリックします。
  - b. リストアするバックアップに対応する\* Restore \*をクリックします。
  - c. バックアップからリストアする仮想マシンを選択し、\* Next \*（次へ）をクリックします。
  - d. 詳細を確認して、\* リストア \* をクリックします。
2. 仮想マシンからリストアするには：
  - a. をクリックします ... リストアする仮想マシンに対応して、\*リストア\*をクリックします。
  - b. 仮想マシンのリストアに使用するバックアップを選択し、[次へ] をクリックします。
  - c. 詳細を確認して、\* リストア \* をクリックします。



VMiは、バックアップの作成元と同じ場所にリストアされます。

## 著作権情報

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. 米国で印刷されていますこのドキュメントは著作権によって保護されています。画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体などの機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。テープ媒体、または電子検索システムへの保管-著作権所有者の書面による事前承諾なし。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、いかなる場合でも、間接的、偶発的、特別、懲罰的、またはまたは結果的損害（代替品または代替サービスの調達、使用の損失、データ、利益、またはこれらに限定されないものを含みますが、これらに限定されません。）ただし、契約、厳格責任、または本ソフトウェアの使用に起因する不法行為（過失やその他を含む）のいずれであっても、かかる損害の可能性について知らされていた場合でも、責任の理論に基づいて発生します。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、またはその他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1 つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許により特許、その他の国の特許、および出願中の特許。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7103（1988 年 10 月）および FAR 52-227-19（1987 年 6 月）の Rights in Technical Data and Computer Software（技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する諸権利）条項の（c）（1）（ii）項、に規定された制限が適用されます。

## 商標情報

NetApp、NetAppのロゴ、に記載されているマーク <http://www.netapp.com/TM> は、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。